

## 2021年度第8回 外洋常任委員会 議事録

開催日；2022年5月27日（金）18:00～19:20

会議の場所及び方法：スポーツマンクラブとWEB会議（Zoom）の併用開催

出席者：（理事）

中澤信夫 副会長、大村雅一 常務理事、平松隆 理事、橘田佳音利 理事、  
宇都光伸 理事、新田肇 理事、中村和哉 理事、菊池邦仁 理事、安田大助 理事、  
岩瀬善貞 理事

（新理事）

萩原ゆき、鈴木祥子、石川彰、沼田浩行

（委員会関係）

平出篤志 外洋安全委員長、坂口城治 通信委員長

三浦信郎 レースマネジメント委員会外洋小委員会委員長

日下部大蔵 ルール委員会外洋規則小委員会委員長

船澤泰隆 国際委員会外洋小委員長、服部好彦 ジャパンカップ委員会委員長、  
坂谷定生 参与、

（事務局）

鈴木保夫 外洋事務局長、

小山悟 外洋艇登録事務局長

（敬称略）

記録者 鈴木保夫

大村常務理事の進行で18:00より開始した。

### 議事

#### 1. 協議事項

大村常務より外洋艇推進グループ組織（案）が説明された。

パリの外洋ダブルスは無くなったが、2028年ロスオリンピック後のブリスベンでは復活させる動きがある。

組織案は6月16日の外洋常任委員会までに確定させたい。

意見があればそれまでに頂きたい。

#### 2. 報告事項

##### ・通信委員会発足

坂口：通信委員会が発足し、JSAF 海岸局の管理と、新しい通信システムの研究を

していきたい。

- ・艇登録 1 年間の結果報告

大村：昨年の艇登録数は会員艇が 755 艇、非会員からの登録が 9 艇で、合計 764 艇となっている。

- ・サバイバルトレーニング（6 月 3 日）

大村：6 月 3 日～5 日にかけてサバイバルトレーニングが北九州のサバイバルトレーニングセンターで開催される。

定員 10 人のところ、現在の申込者は 8 名となっている。

- ・小笠原レース

大村：2023 年の小笠原レースは、地元がゴールデンウィークは繁忙期であることから、ゴールデンウィークを避けて開催する計画を立てている。

5 月の連休前と 6 月の開催する 2 つの案について、沖縄レースの参加者を対象にアンケートを実施している。

- ・外洋ダブルス日本選手権 2022

中村（和）：外洋ダブルス 2022 は関東から 1 艇、東海から 2 艇、内海から 1 艇、合計 4 艇の参加があった。

スケジュールは 4 月 29 日インスペクション、30 日艇長会議、5 月 1 日スタートコースは、和歌山～ラグーナマリーナ間 200 マイルで、2 日に 4 艇フィニッシュした。

ファーストフィニッシュは、SIESTA、優勝は、KLC HORIZON 6、であった。

- ・沖縄～東海レース

坂谷：4 月 29 日に宜野湾マリーナ沖をスタート、5 日に全てフィニッシュした。

コロナ感染の影響で、前夜祭は中止、安全講習会は密を避けるために参加各艇の艇上で行った。

クラスは IRC クラスのみとなり、今回は Trac Trac を採用した。

決算は総額 350 万円で若干の赤字となった。

### 3. 各理事・水域報告

- ・（北海道・東北）

菊池：いわきマリーナが、6 月 1 日より少しだが係留できるようになった。

今後レースを検討していく。

- ・（関東）

新田：関東では少しずつレースを再開している。

- ・（中部）

岩瀬：ゴールデンウィークに沖縄～東海レース、外洋ダブルハンド日本選手権 2022 を開催した。

先週はエリカカップを開催したが、参加艇が少し減った。

・(内海)

安田：関西のゴールデンウィークのレースは、舵杯ヨットレース 47 艇、岬町長杯ヨットレース 38 艇、関空一週ヨットレース 57 艇、新西宮マリンカーニバルには 28 艇の参加があった。

堀江謙一さんが現在母島の南にいる。6 月上旬には和歌山と徳島を結んだフィニッシュラインに到着する予定です。

・(九州・沖縄)

宇都：玄海と沖縄の様子は分からないが、南九州はコロナ前と同じスケジュールでレースを開催している。

行政が絡んだレースは難しい。種子島レースは夏以降の開催を検討しており、三島カップは今年も中止となった。

・平松理事より、セール GP について質問があったが大村常務理事より、現在 JSAF は関与していないとの報告があった。

・平出：4 月 9 日、10 日の初島卯月レースにおいてラダーの事故報告が上っている。  
23 年からモノハル艇のカテゴリー 3 以上はラダーとキールの点検義務づけられる。

・三浦：明日の理事会でレースオフィサー規定の文言の修正が報告される。

・日下部：現在委員の構成を検討中。

・船澤：新しい報告は無い。

・服部：ジャパンカップは 9 月の連休に相模湾で開催する予定で準備をしている。  
シーボニアと調整している。

#### 4. その他

大村常務理事より、明日の理事会の議題の説明の後、退任する理事と新理事の挨拶があり、最後に中澤副会長の、「明るく、楽しく、前向きに」の閉めの言葉で閉会となった。

以上